

2020年3月期第2四半期決算に関する電話一斉取材 主なQ & A

[台風19号]

Q： 収入への影響は。

A： 10月12日から14日にかけての各線区計画運休で約70億円の減収、10月中の北陸新幹線・中央本線特急運休・東北新幹線影響等で約50億円の減収により、10月の減収額を約120億円と推定している。

Q： 費用の見通しは。

A： 浸水、橋りょう流出、線路設備への土砂流入などの被害に伴う影響額は現在算定中である。修繕に係る費用や北陸新幹線車両の今後の取扱い等は、まだ被害の状況を調査している段階であり、現時点で影響額等について確定的な内容は申し上げられない。

Q： 今後の北陸新幹線ダイヤの見通しは。

A： 北陸新幹線のダイヤはあくまで暫定のものであり、今後も投入できる車両数や運用の調整を続け、少しでも平常運行に近づける努力を行っており、輸送力も改善していくものと考えている。

[営業費用]

Q： Suicaの鉄道利用で「JRE POINT」を付与する施策の営業費用への影響は。

A： 利用実績等を見ながら今後、業績に織り込んでいきたい。

Q： 次世代新幹線ALFA-Xの費用計上の進捗は。

A： 上期に試験費が一定程度計上される見込みであったが、下期に計上される見通しとなった。試験自体は順調に進んでおり、年度内には通期の計画通り計上される予定である。

以 上